

令和6年度チームかまいし多職種連携推進支援事業

令和6年度釜石市保健活動勉強会

釜石薬剤師会・釜石市主催「多職種連携研修会」実施要項

令和6年度釜石市のつながり支援と多職種連携

【趣旨】

釜石市では、地域包括ケアシステム充実に向けて、社会的処方（つながり支援）を推進しており、令和5年度には、釜石薬剤師会と行政（保健師等）が連携して「薬局を起点とした社会的処方連携」の取組を試行いたしました。

その取組の成果や課題を共有し、SDH（健康の社会的決定要因）を意識した地域包括ケア体制の構築と可能性について、薬剤師及び保健師が、また、多職種が自分事として検討する機会とします。

日時：令和6年10月30日（水） 開場 18:15～ 開演 18:30～20:00

場所：釜石 PIT

対象：釜石薬剤師会会員、行政(保健師等)、地域包括ケアに関わる多機関・多職種

主催：釜石薬剤師会、釜石市

《内容》

▶基調講演

「SDHを意識した社会的処方（つながり支援）と多職種連携について」

釜石市地域包括ケア推進アドバイザー 釜石医師会 介護在宅診療部会長 寺田尚弘氏

▶取組紹介① 令和5年度釜石市包括的支援の仕組みづくり事業(概要と結果)について

地域包括ケア推進本部事務局 副主幹 白岩由紀子

▶取組紹介② 地域包括支援センターをハブとした釜石市の社会的処方連携

地域包括支援センター 係長 岩井玲子

▶取組紹介③ 令和5年度薬局を起点とした社会的処方連携の成果と課題

釜石薬剤師会 理事 大釋瞬

▶フロアディスカッション「多職種で支える釜石市の包括ケア体制」

座長・総括 釜石市地域包括ケア推進アドバイザー

釜石医師会 介護在宅診療部会長 寺田尚弘氏